

脳灌流異常を伴うスタンフォードA型急性大動脈解離の神経学的予後に関する検討

1. 研究の対象

対象： 2012年8月1日～2022年7月31日の間に当院で緊急手術を受けられたスタンフォードA型急性大動脈解離病客様のなかで、頸部の血管に解離が影響し、術前から意識障害や麻痺を生じていた病客様

2. 研究目的・方法

スタンフォードA型急性大動脈解離を発症された病客様の中でも、頸部の血管に解離が影響し、脳血流に障害を来している方は術後の意識状態が悪かったり、手足の麻痺など重い後遺症を残す事があります。しかし、同じように頸部の血管に解離が影響している病客様の中でも術後の意識状態や後遺症の程度に差があることがあります。今回の研究は、術前や手術中のデータをカルテから抽出し、どのような病客様が術後の状態が良いのか、もしくは悪いのかを解析することで、脳血流に障害を来している大動脈解離病客様の手術成績向上につなげる知見を得ることを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

術前の意識状態や血圧、脈拍などのバイタルサイン、血液データ、CT データ、手術の方法、術後の意識状態や後遺症の程度 等

4. 外部への試料・情報の提供

ありません

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病客さまもしくは病客さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病客さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

研究責任者：岸本 諭(心臓血管外科)